

— アジェンダ 4 がんの進行を先制する

担癌患者におけるCBDの活用法



医療法人新美会 新垣形成外科  
理事長

新垣 実  
Minoru Arakaki

座長 野村 紘史

カンナビス・サティバという植物は、数千年前から薬用として用いられてきた。その治療効果には 540 以上の代謝物が関与していると考えられている。近年、カンナビジオール（CBD）の研究が進み、その作用機序が明らかになるにつれ、前臨床および臨床研究により、CBD には幅広い治療効果があることが示されており、その多くはがんの管理に関連している。2022 年、医学雑誌 Cancer に 205 本の研究論文を渉猟したレビューが掲載された。本講演では、レビューにより明らかにされたエビデンスをもとに、CBD の癌治療への活用法について解説する。

Use of CBD in Carcinoma Patients

Abstract

The Cannabis sativa plant has been used medicinally for thousands of years. More than 540 metabolites are thought to be involved in its therapeutic effects. In recent years, as cannabidiol (CBD) research has progressed and its mechanisms of action have become clearer, preclinical and clinical studies have shown that CBD has a wide range of therapeutic effects, many of which are relevant to cancer management. 2022, the medical journal Cancer published a wade through 205 research articles A review was published. This presentation will discuss the use of CBD in cancer treatment based on the evidence revealed by the review.

略 歴

1984年 長崎大学医学部卒業  
沖縄県立中部病院にて初期外科研修  
1986年 長崎大学形成外科入局、難波雄哉に師事  
長崎大学、長崎労災病院、愛媛県立中央病院で形成外科研修  
1996年 学位取得後、沖縄に帰郷し、「スキングクリニック新垣」を開業  
2004年 (医) 新美会新垣形成外科開設、本格的に形成外科診療を開始。  
2010年 分子矯正医学を学び診療に取り入れる。  
形成外科／美容外科をはじめ、予防医学、統合医療など幅広い分野で活躍。  
2016年 日本で初めての医療大麻の学会（日本臨床カンナビノイド学会）を設立  
初代理事長を務める。日本における医療大麻研究の第一人者  
2024年 大麻取締法改正への道を切り開いた功労者の一人。  
CBDオイルに関する講演をはじめ、カンナビノイドの啓発や普及に務めている。

所属団体等

日本美容外科学会専門医・理事  
日本形成外科学会専門医  
日本臨床カンナビノイド学会理事  
日本先制臨床医学会理事  
日本抗加齢医学会専門医  
NPO分子矯正医学協会認定医  
日本統合医療学会  
日本美容内科学会

資 格

医師／医学博士

【メモ欄】